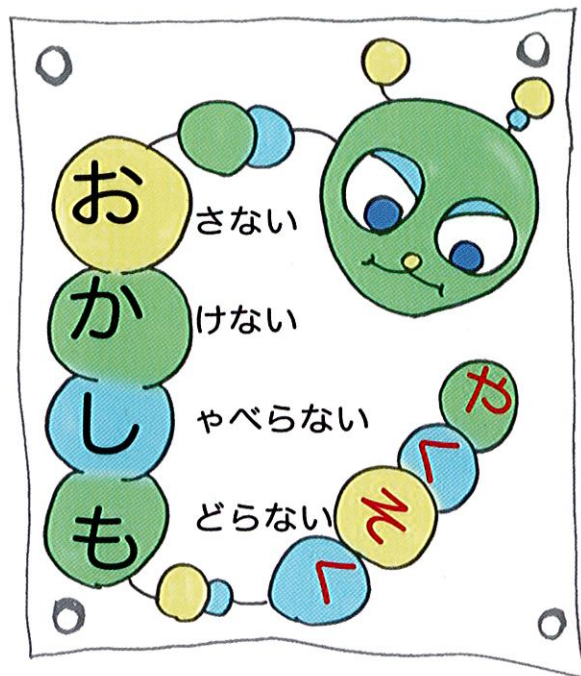


いざというとき どうする



じしんや かじは いつおこるか わかりません。
どんなときにも おとなのはなしを しっかりききましょう。
ふだんから くんれんに さんかし ころろがまえを
しておきましょう。

保護者のみなさまへ

いのちを守る

地震、火事とはつぜん私たちの身に襲いかかる災害です。

早く気づき、確実な避難行動がみんなの大切な命を守ることにつながります。

確実に避難するために必要な事を、日頃から子どもたちにも話しておきましょう。

指示を聞き行動する

まずは、いつもの訓練で身に付けた避難のやり方を守るようにしましょう。

お・か・し・も の約束をもう一度考えてみましょう。

- | | |
|------------|-----------------------------|
| お・・・押さない | 押すと倒れたりして大怪我につながります。 |
| か・・・駆けない | 駆け出して転ぶと次々転んで、大事故につながります。 |
| し・・・しゃべらない | おしゃべりしていると大切な注意や指示が聞き取れません。 |
| も・・・戻らない | どんな大事な忘れ物でも決して取りに戻ってはいけません。 |
- 地震は大きな揺れがまた来ることがあります。
火災は大きく広がっています。



だいじょうぶ！大人がみんなを守るよ

子どもたちにはしっかり大人がついています。

子どもたちの安全は、何より大切に守って行動します。

怖がりすぎないように、大人の指示をしっかり聞いて行動する大切さを学ぶために、日頃から防災訓練を行っています。

ご家庭でも、お子さんと話し合っておきましょう。

